## **２．公権力と人権について**

### **問６　公権力に関する人権上の問題点**

**あなたは、公権力の行使にあたり、現在、人権上特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）**

１．捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯　　２．公務員・教育職員等による人権侵犯

３．国等が関わる公害や薬害等の問題　　４．冤罪（えんざい）　　５．市民活動を制限すること

６．特に問題はない　　７．わからない　　８．その他（　　）



全体集計

「冤罪（えんざい）」の割合が42.5％と最も高く、次いで「わからない」が27.0％、「捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯」が25.0％となっている。



性別集計

性別でみると、男女ともに「冤罪（えんざい）」の割合が最も高く、第2位は男性が「捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯」、女性が「わからない」、第3位は男女とも「公務員・教育職員等による人権侵犯」となっている。

「わからない」が最も男女差が大きく、男性（21.1％）よりも女性（31.1％）の方が10.0ポイント高くなっている。

年齢別集計



年齢別でみると、すべての年齢層で「冤罪（えんざい）」の割合が最も高くなっている。

### **問７　公権力の行使による人権侵害を防ぐために必要なこと**

**あなたは、公権力の行使による人権侵害を防ぐためには、人権上特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。（○は３つまで）**

１．人権の視点に立った制度の点検や見直し　　２．公務員への効果的な人権研修、人権教育

３．国や地方公共団体等の相談体制の充実　　４．相談機関・相談窓口や制度の十分な周知

５．人権に関わる機関・団体相互の緊密な連携・協力関係の構築

６．特にない　　７．わからない　　８．その他（　　）



全体集計

「人権の視点に立った制度の点検や見直し」が38.1％と最も高く、次いで「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」が33.7％、「人権に関わる機関・団体相互の緊密な連携・協力関係の構築」が28.1％となっている。



性別集計

性別でみると、男女ともに「人権の視点に立った制度の点検や見直し」の割合が最も高く、次いで「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」、「人権に関わる機関・団体相互の緊密な連携・協力関係の構築」の順となっている。

「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」が最も男女差が大きく、男性（28.4％）よりも女性（38.2％）の方が9.8ポイント高くなっている。



年齢別集計

年齢別でみると、10～50歳代は「人権の視点に立った制度の点検や見直し」、60歳代は「相談機関・相談窓口や制度の十分な周知」、70歳以上は「公務員への効果的な人権研修、人権教育」の割合が最も高くなっている。